

# 報 告 書

日時	令和 1 年 10 月 20 日（日）～10 月 21 日（月）
研修名	埼玉県高等学校 P T A 連合会連合 南支部役員等県外研修会
参加者	杉林校長、後援会：小川顧問、上田会長、P T A：木村会長、庄司
報告者	庄司（次回運営委員会報告者： 庄司 ）

## 報告内容

埼玉県南支部の県外研修会が、福島県母畑温泉にて、埼玉南支部 40 校約 240 名が参加し、「東日本大震災や原発事故からの復興状況の視察と震災学習」をテーマに 10 月 20・21 日の 2 日間開催されました。

主催：埼玉県高等学校 P T A 連合会  
埼玉県高等学校 P T A 連合会南支部

会場：福島県石川郡石川町母畑温泉方面  
南支部長校：桶川西高等学校

日程：(バス移動)

○ 1 日目 ○

さいたま新都心駅発 ⇒ 小峰城（福島県白河市）見学  
震災時石垣が崩壊したが、H27 年復興。  
震災についてボランティアの説明を聞きながら、三重櫓などを見学した。



⇒ 母畑温泉着「八幡屋」にて  
【研究協議会】と【懇親会】

## 【研究協議会】

- ・口演会 『復興を支える人のつながり』

(富岡町3・11を語る会 代表 青木淑子先生

『人は人によってしか救われない。震災時は情報が正しく伝達されず、行政の対応も不十分。避難所で大切なのはリーダーの存在。リーダー（人）を育てることが一番大事』

- ・各専門委員会の発表と研究協議

- ① 専門委員会「高校教育とPTA」

発表校：県立南陵高等学校

題目『コミュニケーション力で生徒の成長を応援』

- ② 専門委員会「進路指導」

発表校：市立浦和高等学校

題目『子どもへの諦めないサポート』

- ③ 専門委員会「生徒指導」

発表校：県立川口北高等学校

題目『チーム川北で、目指すは最高レベルの私  
～「学校の応援団として」』

- ④ 専門委員会「学校教育」

発表校：県立大宮高等学校

題目『「卒業生に学ぶ会」を通して』

## 【懇親会】

南支部参加校一同に会し、懇親会を実施

今回は台風19号の災害に配慮し、余興・2次会は自粛となった。



○2日目○

母畑温泉発 ⇒ 塩谷崎灯台（福島県いわき市）見学



⇒豊間・薄磯地区被災地（福島県いわき市）復興状況視察  
震災の被害を被られた「語りべ」の方々の実体験に基づいた  
貴重なお話を伺いながら、被災した地区の復興状況を視察。



⇒いわきら・らミュウ（いわき市小名浜）昼食  
⇒大宮駅西口着（17時）

### 【感想】

3・11震災の被災地を視察し、ボランティアの被災者である「語りべ」からの実体験のお話を伺いましたが、その言葉の重さを痛感し、今後活かしていくにはどうしたらよいか、とても考えさせられる思いでした。一番心に滲み言葉は、「自分の身は自分で守る！」という言葉でした。今回は、台風19号の災害の直後であったこともあり、大きな自然の驚異の中で、人はどうしてもこれまでの経験則に基づいた判断をしがちであり、3・11の時、この被災地の方々も、ここは津波は来ない！という経験則で海を眺めていて被害に遭われたことを伺い、自分も避難勧告がでていても大丈夫と実際に避難行動に移ることができなかったことを思い起こし、想像を超える災害が来たときに、命取りになることを学びました。また、災害時身内が離れ離れで危険地域にいる場合、心情的に助けに行ってしまうますが、これが自殺行為であることを認識し、災害時の落ち合い場所を決めるなど、むやみに危ない地域に飛び込むようなことをしなくて済むよう対策が重要であると学びました。